

平成 23 年 7 月吉日

報道関係各位

- ・ユニバーサルデザインフード生産量・金額前年対比各 119.3%、114.8%
- ・ユニバーサルデザインフード製品登録数 635 アイテムに



ユニバーサルデザインフード

日本介護食品協議会

- ・ユニバーサルデザインフード生産量・金額前年対比各 119.3%、114.8%

今般、日本介護食品協議会では、会員企業を対象に平成 22 (2010) 年のユニバーサルデザインフード生産統計を集計した。この結果、生産量 7,012 トン、生産金額 8,293 百万円で前年対比はそれぞれ 119.3%、114.8%と前年に引き続き大きく増加した。

区分別ではすべての区分で増加しているが、区分 2 及び、区分 3 の伸びが生産量、金額ともに著しい。区分 2 については、区分 1 と共通するが、施設や病院の給食などで年齢・対象等を問わず汎用的に利用されるケースが増えていることや、価格の低下を受けた取り扱い増加などが要因とみられる。区分 3 は最もアイテム数の多い区分であるが、在宅や施設等でも調理が難しく加工度が高いため、利用される機会が一層増加しているものとみられる。また、流通タイプ別に見ると、乾燥、冷凍、常温とも増加、販売先別においても、市販用、業務用ともに増加している。数量の増加率に対して、金額が若干低くなっているが、これは、製品当たりの単価が低下したためとみられる。(図表別添)

- ・ユニバーサルデザインフード製品登録数 635 アイテムに

ユニバーサルデザインフードの商品は現在 635 品目が登録されており、年々増加している(平成 23 (2011) 年 5 月末現在)。当初はレトルト食品などの常温食品の数が多かったが、近年では冷凍食品の登録数増加が著しく、およそ 6 割を占めている。

【UDF 商品登録状況 (635 品目・5 月末現在)】

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	とりみ調整	合計
乾燥食品	0	0	2	0	53	55
冷凍食品	76	29	264	10	0	379
常温食品	12	28	105	55	1	201
合計	88	57	371	65	54	635

協議会の発足以降、利用者、食品メーカー問わずユニバーサルデザインフードについての問い合わせは頻度を増していることから、今後さらに生産量、アイテム数は増加して行くことが見込まれる。

日本介護食品協議会



ユニバーサルデザインフード生産統計

日本介護食品協議会

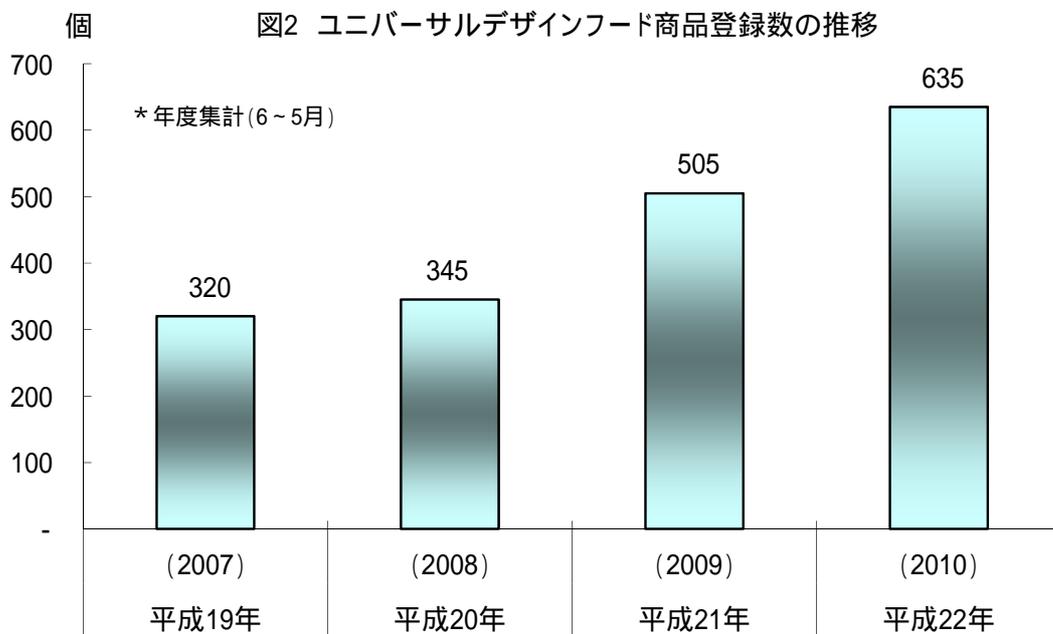
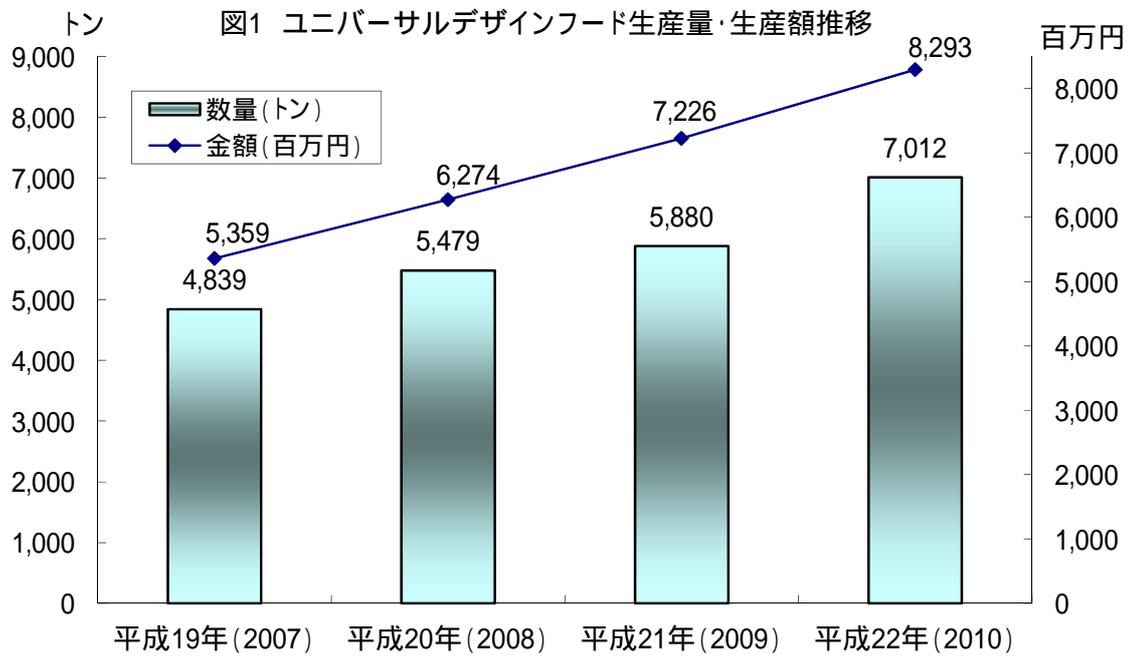
		平成19(2007)年		平成20(2008)年		平成21(2009)年		平成22(2010)年	
		数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
区分	1	310	341	525	514	813	707	859	761
	2	483	484	410	409	402	413	633	504
	3	1,726	1,517	2,217	1,991	2,585	2,583	3,216	3,154
	4	1,570	1,097	1,415	920	1,016	814	1,119	949
とろみ		750	1,920	912	2,440	1,065	2,710	1,185	2,927
<b>合計</b>		<b>4,839</b>	<b>5,359</b>	<b>5,479</b>	<b>6,274</b>	<b>5,880</b>	<b>7,226</b>	<b>7,012</b>	<b>8,293</b>
タイプ別	乾燥	745	1,914	912	2,440	1,091	2,789	1,217	3,023
	冷凍	1,749	1,395	2,058	1,753	2,066	2,065	2,592	2,454
	常温	2,346	2,050	2,510	2,081	2,724	2,373	3,204	2,817
<b>合計</b>		<b>4,839</b>	<b>5,359</b>	<b>5,479</b>	<b>6,274</b>	<b>5,880</b>	<b>7,226</b>	<b>7,012</b>	<b>8,293</b>
販売先別	市販	933	1,081	976	1,093	1,099	1,287	1,306	1,509
	業務	3,907	4,278	4,503	5,181	4,782	5,939	5,706	6,784
<b>合計</b>		<b>4,839</b>	<b>5,359</b>	<b>5,479</b>	<b>6,274</b>	<b>5,880</b>	<b>7,226</b>	<b>7,012</b>	<b>8,293</b>

暦年集計  
金額は出荷ベース

ユニバーサルデザインフード平成22年(2010年)生産量・金額前年対比

		平成22(2010)年		平成21(2009)年		10/09年対比		10/08年対比	
		数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
区分	1	859	761	813	707	105.7	107.6	163.6	147.9
	2	633	504	402	413	157.4	121.9	154.4	123.3
	3	3,216	3,154	2,585	2,583	124.4	122.1	145.0	158.4
	4	1,119	949	1,016	814	110.2	116.5	79.1	103.1
とろみ		1,185	2,927	1,065	2,710	111.3	108.0	130.0	119.9
<b>合計</b>		<b>7,012</b>	<b>8,293</b>	<b>5,880</b>	<b>7,226</b>	<b>119.3</b>	<b>114.8</b>	<b>128.0</b>	<b>132.2</b>
タイプ別	乾燥	1,217	3,023	1,091	2,789	111.6	108.4	133.5	123.9
	冷凍	2,592	2,454	2,066	2,065	125.4	118.9	125.9	140.0
	常温	3,204	2,817	2,724	2,373	117.6	118.7	127.7	135.4
<b>合計</b>		<b>7,012</b>	<b>8,293</b>	<b>5,880</b>	<b>7,226</b>	<b>119.3</b>	<b>114.8</b>	<b>128.0</b>	<b>132.2</b>
販売先別	市販	1,306	1,509	1,099	1,287	118.9	117.2	133.9	138.1
	業務	5,706	6,784	4,782	5,939	119.3	114.2	126.7	130.9
<b>合計</b>		<b>7,012</b>	<b>8,293</b>	<b>5,880</b>	<b>7,226</b>	<b>119.3</b>	<b>114.8</b>	<b>128.0</b>	<b>132.2</b>

本統計は日本介護食品協議会会員企業の「ユニバーサルデザインフード生産統計」です。介護食品全体の市場規模を表すものではありません。



## 「日本介護食品協議会」について～介護食品の規格を統一～

我が国は「超高齢社会」をむかえましたが、以前より各食品メーカーでは「介護」シーンでの利用を考慮した食品の開発や販売を行ってきました。しかし、当初の「介護食品」はメーカーによって製造に関する規格や表示方法が異なるため、利用者の不便が指摘されていました。

そこで、これら利用者の不便を解消するため、食品メーカーを中心に、素材や容器など多くの企業が集まり、『日本介護食品協議会』を設立（2002年4月）し、介護食品の「食べやすさ」「使いやすさ」などについて「統一規格」を制定しました。協議会では、その規格に適合する商品をすべての人がたべやすいことから「ユニバーサルデザインフード」とし、以降、次々と「ユニバーサルデザインフード」のロゴマークを表示した商品が誕生、現在もその数は増え続けています。協議会では、「ユニバーサルデザインフード」をすべての利用者に安心して使っていただくために、関連する情報の発信や普及啓発活動、自主規格の整備などを行い介護食品業界の健全な発展を目指すとともに、みなさまの食べる楽しみを通じて QOL(クオリティーオブライフ・生活の質)の向上に貢献していきたいと考えています。

### 「ユニバーサルデザインフード」とは

日常の食事から介護食まで幅広くお使いいただける、食べやすさに配慮した食品です。その種類も様々で、レトルト食品や冷凍食品などの調理加工食品をはじめ、飲み物やお食事にとろみをつける「とろみ調整食品」などがあります。

ユニバーサルデザインフードのパッケージには必ず UDF マークが記載されています。これは日本介護食品協議会が制定した規格 に適合する商品だけについているマークです。お客さまが選び易いよう、どのメーカーの商品にも「かたさ」や「粘度」の規格により分類された4つの区分を表示しています。この区分を目安にご利用に適した商品を安心して選んでいただけます。

まずはパッケージの UDF マークをご覧ください。

日本介護食品協議会会員である食品メーカーはこの規格に基づき商品を製造・販売しています。

#### 【問合せ先】

日本介護食品協議会 事務局  
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 10-2  
翔和神田ビル3階（日本缶詰協会内）  
電話 03-5256-4801 F A X 03-5256-4805

